

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型
信託期間	無期限（設定日：2018年6月29日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式に投資し、STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 イノベーション・インデックス・AIマザーファンド 世界の取引所に上場している株式
当ファンドの運用方法	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に以下のような運用を行います。 ■世界各国の企業の中から、AI関連企業の株式に投資します。 ■STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 イノベーション・インデックス・AIマザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年6月20日、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

イノベーション・インデックス・AI

【運用報告書(全体版)】

(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

第 2 期
決算日 2020年6月22日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式に投資し、STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(ベンチマーク) STOXXグローバルAIインデックス (ネット・リターン、円換算ベース)		株式組入 率	投資信託 組入率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込	期 騰	中 落	期 騰			
(設定日) 2018年6月29日	円 10,000	円 —	—	—	100.00	% —	% —	百万円 200
1期(2019年6月20日)	9,325	0	△ 6.8	—	94.61	96.7	—	693
2期(2020年6月22日)	12,299	0	31.9	—	126.91	85.8	8.5	862

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※STOXXグローバルAIインデックス(ネット・リターン、円換算ベース)は、STOXXグローバルAIインデックス(ネット・リターン、米ドルベース)を基に委託会社が独自に円換算した値で、設定時を100として2020年6月22日現在知りえた情報にもとづき指数化しています。

※STOXXリミテッド(スイス、ツーク)(以下「STOXX社」)は、STOXXグローバルAIインデックス及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はSTOXXグローバルAIインデックス若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(ベンチマーク) STOXXグローバルAIインデックス (ネット・リターン、円換算ベース)		株式組入 率	投資信託 組入率
	騰	落	騰	落		
(期首) 2019年6月20日	円 9,325	% —	94.61	% —	% 96.7	% —
6月末	9,447	1.3	95.94	1.4	96.6	—
7月末	10,291	10.4	104.80	10.8	96.2	—
8月末	9,588	2.8	97.99	3.6	99.0	—
9月末	9,866	5.8	100.90	6.7	98.2	—
10月末	10,298	10.4	105.41	11.4	97.3	—
11月末	10,795	15.8	110.70	17.0	99.6	—
12月末	11,303	21.2	116.15	22.8	97.1	—
2020年1月末	11,693	25.4	120.34	27.2	97.7	—
2月末	10,600	13.7	108.80	15.0	96.7	—
3月末	9,735	4.4	99.17	4.8	97.8	—
4月末	11,091	18.9	113.69	20.2	96.0	—
5月末	11,853	27.1	121.95	28.9	97.5	—
(期末) 2020年6月22日	12,299	31.9	126.91	34.1	85.8	8.5

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

基準価額等の推移



※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,325円
期末	12,299円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+31.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、STOXXグローバルAIインデックス(ネット・リターン、円換算ベース)です。

※STOXXリミテッド(スイス、ツーク)(以下「STOXX社」)は、STOXXグローバルAIインデックス及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はSTOXXグローバルAIインデックス若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

基準価額の主な変動要因(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業の中から、A I 関連企業の株式に投資し、S T O X X グローバルA I インデックス(ネット・リターン、円換算ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行いました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っていません。



A I とは

Artificial Intelligenceの略で、日本語では人工知能といわれ、人間のように自ら学び発達していくコンピューター・プログラムをさします。

上昇要因

- 期初から7月下旬にかけて、米国の利下げ期待や米中通商問題の協議進展観測などにより、世界の株式市場が上昇したこと
- 10月上旬から2020年2月中旬にかけて、米中通商協議の進展などを受け、世界の株式市場が上昇したこと
- 3月下旬から期末まで、新型コロナウイルス感染拡大ペースの鈍化を受けた経済活動の再開期待や治療薬開発期待が高まったことにより、世界の株式市場が反発したこと

下落要因

- 8月に、米トランプ大統領が中国に対して通商問題で強硬な姿勢を見せたことなどを嫌い、世界の株式市場が下落したこと
- 2020年2月下旬から3月中旬まで、新型コロナウイルスが急ピッチでパンデミック(世界的大流行)化して、経済活動の停止の動きが拡大したことにより、世界の株式市場が急落したこと
- 米ドルが円に対して下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	期末組入比率
イノベーション・インデックス・ A I マザーファンド	内外株式	+32.9%	100.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

当期の米国株式市場は上昇しました。A I 関連銘柄は上昇しました。為替市場では米ドルは円に対して下落しました。

株式市場

米国株式市場は、期初から7月まで、米国の利下げ期待や米中間の貿易協議進展に対する期待から上昇しました。

世界景気にじりじりと減速感が強まる展開となる中、7月末のFOMC(米連邦公開市場委員会)で約10年半ぶりとなる利下げが決定されました。しかし、8月に入りトランプ大統領が新たな対中追加関税策を発表、これに中国も対抗策を講じるなど米中関係の改善観測が後退し、株価は急落しました。10月から2020年2月中旬にかけては、米中貿易協議で部分的合意が発表されたことなどを背景に、株価は上昇しました。

2月から3月にかけては新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、株式市場は下落局面に転じました。感染拡大抑止のため、世界の多くの大都市で経済活動の抑制措置がとられると、信用不安も高まり、株式市場は急ピッチで下落しました。世界景気の未曾有の危機に対応して、各国で経済対策の策定が進められたことから、3月下旬には株式市場は底入れのタイミングを模索しました。金融政策ではFRB(米連邦準備制

度理事会)はゼロ金利政策を実施、米国政府も減税や中小企業支援策など財政政策を発表しました。また治療薬やワクチンの開発が進んでいるとの観測やロックダウン(都市封鎖)の解除へ向けた動きを受けて世界の株式市場は上昇して、期末を迎えました。

A I 関連銘柄は通期では大きく上昇しました。ITや半導体関連企業の株価が堅調だったことが寄与しました。

当期のS & P 500インデックス(米ドルベース)は5.9%上昇しました。一方、STOX XグローバルA Iインデックス(クロス・リターン、米ドルベース)は、35.4%上昇しました。

為替市場

期初から8月下旬まで米ドル安・円高傾向で推移しました。米中貿易摩擦の高まりを背景に世界景気が減速感を強める中、米国の金融政策が緩和方向に転換し、7月末にはFRB(米連邦準備制度理事会)は利下げを決定しました。9月には米中貿易協議再開の機運が高まり、12月には貿易協議で第一段階の合意が発表されるなど協議の進

展を受け、米国の長期金利が上昇したことで米ドルが円に対して2月の中旬まで上昇基調で推移しました。

2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月にはF R Bが緊急利下げを行うなどで世界的に金利が低下するとともに投資家のリスク回避的な動きから米

ドルは対円で102円台まで急落する局面もありましたが、株式市場が反発上昇する過程で米ドルも対円で上昇する展開となりました。

当期の米ドル・円は期首107円79銭から期末106円77銭へと1円02銭の米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

当ファンド

期を通じて主要投資対象である「イノベーション・インデックス・A I マザーファンド」を高位に組み入れました。

イノベーション・インデックス・A I マザーファンド

●株式組入比率

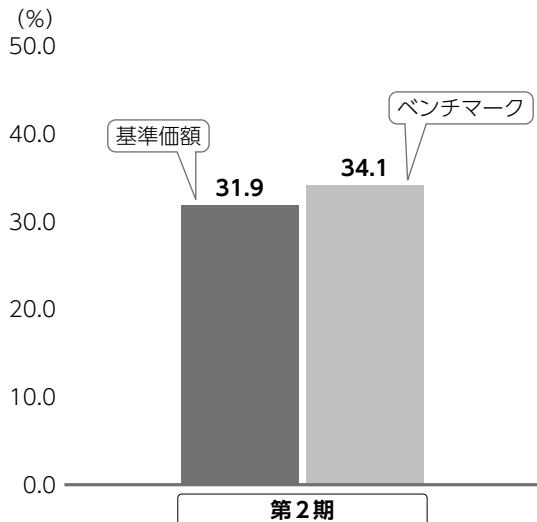
S T O X X グローバルA I インデックス(ネット・リターン、円換算ベース)に連動する投資成果を目指し、株式組入比率(上場投資信託証券を含む)は期を通じて高位を保ちました。

日々の追加設定・解約による資金変動に応じて株式および上場投資信託の売買を行い、トラッキングエラー(ポートフォリオのリターンとベンチマークのリターンとの乖離)の抑制に努めました。

また、6月のベンチマークの定期銘柄見直し、および3、6、9、12月の時価変動等によるリバランス(組入比率の調整)に応じて、ポートフォリオの修正を行いました。

ベンチマークとの差異について(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

基準価額とベンチマークの対比(騰落率)



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドはS T O X X グローバルA I イ
ンデックス(ネット・リターン、円換算ベ
ース)をベンチマークとしています。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの
騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

当期における基準価額の騰落率は+31.9%(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰
落率+34.1%を2.2%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 売買コストが生じたこと
- 日々の設定解約に備えて現金を保有する中、ベンチマークが上昇したため
- 現地証券保管銀行の証券保管および取引などに関わるコストが生じたため
- 信託報酬が日々生じたこと

分配金について(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第2期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,299

当期の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「イノベーション・インデックス・A I マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

イノベーション・インデックス・A I マザーファンド

引き続き、STOXXグローバルA I インデックス(ネット・リターン、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。個別銘柄においてもベンチマーク時価ウェイトに沿った投資を行い、トラッキングエラーを抑制します。また、株式組入比率(上場投資信託証券を含む)を高位に保つことを基本とします。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年6月21日から2020年6月22日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	87円 (43) (41) (3)	0.824% (0.409) (0.387) (0.028)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託証券)	22 (21) (0)	0.207 (0.203) (0.003)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.022 (0.022)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	23 (22) (1) (0)	0.213 (0.206) (0.007) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	134	1.266	

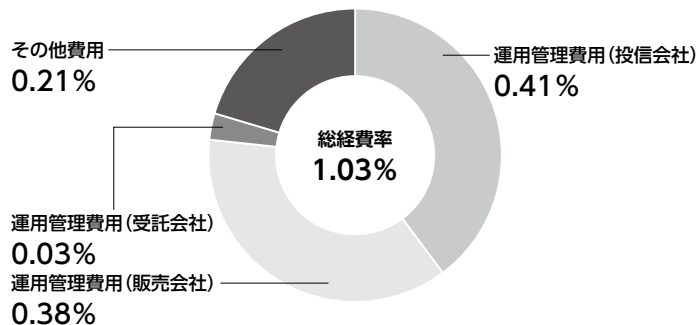
期中の平均基準価額は10,546円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率 (年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.03%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年6月21日から2020年6月22日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イノベーション・インデックス・A Iマザーファンド	千口 402,138	千円 450,794	千口 449,945	千円 475,406

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

項 目	当 期
	イノベーション・インデックス・A Iマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,338,003千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	651,766千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.05

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年6月21日から2020年6月22日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年6月22日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	評 価	額
イノベーション・インデックス・A Iマザーファンド	千口 740,147	千口 692,341	千円	865,288

※イノベーション・インデックス・A Iマザーファンドの期末の受益権総口数は692,341千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2020年6月22日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イノベーション・インデックス・A Iマザーファンド	865,288	99.7
コール・ローン等、その他	2,714	0.3
投資信託財産総額	868,002	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※イノベーション・インデックス・A Iマザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（855,094千円）の投資信託財産総額（1,042,607千円）に対する比率は82.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=106.77円、1オーストラリアドル=72.86円、1ニュージーランドドル=68.42円、1香港ドル=13.78円、100韓国ウォン=8.80円、1新台湾ドル=3.61円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年6月22日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	868,002,808円
コール・ローン等	2,714,691
イノベーション・インデックス・A Iマザーファンド(評価額)	865,288,117
(B) 負 債	5,562,511
未払解約金	2,706,941
未払信託報酬	2,832,750
未払利息	5
その他未払費用	22,815
(C) 純資産総額(A-B)	862,440,297
元 本	701,207,627
次期繰越損益金	161,232,670
(D) 受益権総口数	701,207,627口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,299円

※当期における期首元本額743,753,260円、期中追加設定元本額744,552,061円、期中一部解約元本額787,097,694円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年6月21日 至2020年6月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,339円
支 払 利 息	△ 1,339
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	125,747,771
売 買 益	183,915,354
売 買 損	△ 58,167,583
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,517,007
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	120,229,425
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 10,749,118
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	51,752,363
(配 当 等 相 当 額)	(655,693)
(売 買 損 益 相 当 額)	(51,096,670)
(G) 計 (D+E+F)	161,232,670
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	161,232,670
追 加 信 託 差 損 益 金	51,752,363
(配 当 等 相 当 額)	(1,139,654)
(売 買 損 益 相 当 額)	(50,612,709)
分 配 準 備 積 立 金	109,480,307

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益（5,281,624円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（104,093,018円）、信託約款に規定される収益調整金（51,752,363円）および分配準備積立金（105,665円）より分配可能額は161,232,670円（1万口当たり2,299円）ですが、分配は行っておりません。

■ 分配金のお知らせ

	当	期
1 万口当たり分配金 (税引前)		- 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

イノベーション・インデックス・AIマザーファンド

第2期（2019年6月21日から2020年6月22日まで）

信託期間	無期限（設定日：2018年6月29日）
運用方針	<p>■主として世界の取引所に上場している株式に投資し、STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <p>なお、預託証書（DR）、株価指数先物取引、上場投資信託証券に投資を行う場合があります。</p> <p>■外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</p>

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(ベンチマーク) STOXXグローバルAIインデックス (ネット・リターン、円換算ベース)		株式組入 率	投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
	期 騰	期 落	中 率	中 率			
(設 定 日) 2018年6月29日	円	%		%	%	%	百万円
	10,000	—	100.00	—	—	—	200
1期（2019年6月20日）	9,406	△ 5.9	94.61	△ 5.4	96.3	—	696
2期（2020年6月22日）	12,498	32.9	126.91	34.1	85.5	8.5	865

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）は、STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、米ドルベース）を基に委託会社が独自に円換算した値で、設定時を100として2020年6月22日現在知りえた情報にもとづき指数化しています。

※STOXXリミテッド（スイス、ツーク）（以下「STOXX社」）は、STOXXグローバルAIインデックス及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はSTOXXグローバルAIインデックス若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、（過失の有無を問わず）いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(ベ ン チ マ ー ク) STOXXグローバルAIインデックス (ネット・リターン、円換算ベース)		株式組入 率	投資信託 証券組入 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年6月20日	円 9,406	% —	94.61	% —	% 96.3	% —
6月末	9,530	1.3	95.94	1.4	96.6	—
7月末	10,389	10.5	104.80	10.8	96.1	—
8月末	9,686	3.0	97.99	3.6	98.8	—
9月末	9,974	6.0	100.90	6.7	97.9	—
10月末	10,416	10.7	105.41	11.4	97.0	—
11月末	10,924	16.1	110.70	17.0	99.2	—
12月末	11,445	21.7	116.15	22.8	97.1	—
2020年1月末	11,848	26.0	120.34	27.2	97.7	—
2月末	10,749	14.3	108.80	15.0	96.6	—
3月末	9,880	5.0	99.17	4.8	97.5	—
4月末	11,260	19.7	113.69	20.2	95.7	—
5月末	12,039	28.0	121.95	28.9	97.2	—
(期 末) 2020年6月22日	12,498	32.9	126.91	34.1	85.5	8.5

※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2019年6月21日から2020年6月22日まで）

基準価額等の推移



期首	9,406円
期末	12,498円
騰落率	+32.9%

※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドのベンチマークは、STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）です。
 ※STOXXリミテッド（スイス、ツーク）（以下「STOXX社」）は、STOXXグローバルAIインデックス及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はSTOXXグローバルAIインデックス若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断については、何ら保証するものではなく、（過失の有無を問わず）いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に關係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

▶ 基準価額の主な変動要因（2019年6月21日から2020年6月22日まで）

当ファンドは、世界各国の企業の中から、AI関連企業の株式に投資し、STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期初から7月下旬にかけて、米国の利下げ期待や米中通商問題の協議進展観測などにより、世界の株式市場が上昇したこと ・ 10月上旬から2020年2月中旬にかけて、米中通商協議の進展などを受け、世界の株式市場が上昇したこと ・ 3月下旬から期末まで、新型コロナウイルス感染拡大ペースの鈍化を受けた経済活動の再開期待や治療薬開発期待が高まったことにより、世界の株式市場が反発したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月に、米トランプ大統領が中国に対して通商問題で強硬な姿勢を見せたことなどを嫌気し、世界の株式市場が下落したこと ・ 2020年2月下旬から3月中旬まで、新型コロナウイルスが急ピッチでパンデミック（世界的大流行）化して、経済活動の停止の動きが拡大したことにより、世界の株式市場が急落したこと ・ 米ドルが円に対して下落したこと

▶ 投資環境について（2019年6月21日から2020年6月22日まで）

当期の米国株式市場は上昇しました。A I 関連銘柄は上昇しました。為替市場では米ドルは円に対して下落しました。

株式市場

米国株式市場は、期初から7月まで、米国の利下げ期待や米中間の貿易協議進展に対する期待から上昇しました。

世界景気にじりじりと減速感が強まる展開となる中、7月末のFOMC（米連邦公開市場委員会）で約10年半ぶりとなる利下げが決定されました。しかし、8月に入りトランプ大統領が新たな対中追加関税策を発表、これに中国も対抗策を講じるなど米中関係の改善観測が後退し、株価は急落しました。10月から2020年2月中旬にかけては、米中貿易協議で部分的合意が発表されたことなどを背景に、株価は上昇しました。

2月から3月にかけては新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、株式市場は下落局面に転じました。感染拡大抑止のため、世界の多くの大都市で経済活動の抑制措置がとられると、信用不安も高まり、株式市場は急ピッチで下落しました。世界景気の未曾有の危機に対応して、各国で経済対策の策定が進められたことから、3月下旬には株式市場は底入れのタイミングを模索しました。金融政策ではFRB（米連邦準備制度理事会）はゼロ金利政策を実施、米国政府も減税や中小企業支援策など財政政策を発表しました。また治療薬やワクチンの開発が進展しているとの観測やロックダウン（都市封鎖）の解除へ向けた動きを受けて世界の株式市場は上昇して、期末を迎えました。

A I 関連銘柄は通期では大きく上昇しました。ITや半導体関連企業の株価が堅調だったことが寄与しました。

当期のS & P 500インデックス（米ドルベース）は5.9%上昇しました。一方、STOXXグローバルA I インデックス（グロス・リターン、米ドルベース）は、35.4%上昇しました。

為替市場

期初から8月下旬まで米ドル安・円高傾向で推移しました。米中貿易摩擦の高まりを背景に世界景気が減速感を強める中、米国の金融政策が緩和方向に転換し、7月末にはFRB（米連邦準備制度理事会）は利下げを決定しました。9月には米中貿易協議再開の機運が高まり、12月には貿易協議で第一段階の合意が発表されるなど協議の進展を受け、米国の長期金利が上昇したことで米ドルが円に対して2月の中旬まで上昇基調で推移しました。

2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月にはFRBが緊急利下げを行うなどで世界的に金利が低下するとともに投資家のリスク回避的な動きから米ドルは対円で102円台まで急落する局面もありましたが、株式市場が反発上昇する過程で米ドルも対円で上昇する展開となりました。

当期の米ドル・円は期首107円79銭から期末106円77銭へと1円02銭の米ドル安・円高となりました。

▶ ポートフォリオについて (2019年6月21日から2020年6月22日まで)

株式組入比率

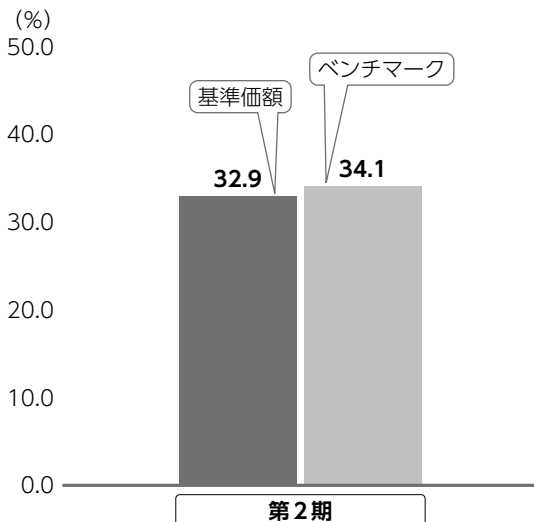
STOX X グローバル A I インデックス (ネット・リターン、円換算ベース) に連動する投資成果を目指し、株式組入比率 (上場投資信託証券を含む) は期を通じて高位を保ちました。

日々の追加設定・解約による資金変動に応じて株式および上場投資信託の売買を行い、トラッキングエラー (ポートフォリオのリターンとベンチマークのリターンとの乖離) の抑制に努めました。

また、6月のベンチマークの定期銘柄見直し、および3、6、9、12月の時価変動等によるリバランス (組入比率の調整) に応じて、ポートフォリオの修正を行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年6月21日から2020年6月22日まで)

基準価額とベンチマークの対比 (騰落率)



当ファンドはSTOX X グローバル A I インデックス (ネット・リターン、円換算ベース) をベンチマークとしています。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

【ベンチマークとの差異の状況および要因】

当期における基準価額の騰落率は+32.9%となり、ベンチマークの騰落率+34.1%を1.2%下方乖離しました。

下方乖離要因

- ・ 売買コストが生じたこと
- ・ 日々の設定解約に備えて現金を保有する中、ベンチマークが上昇したため
- ・ 現地証券保管銀行の証券保管および取引などに関わるコストが生じたため

2 今後の運用方針

引き続き、STOXXグローバルAIインデックス（ネット・リターン、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。個別銘柄においてもベンチマーク時価ウェイトに沿った投資を行い、トラッキングエラーを抑制します。また、株式組入比率（上場投資信託証券を含む）を高位に保つことを基本とします。

■ 1万口当たりの費用明細（2019年6月21日から2020年6月22日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	22円 (22) (0)	0.206% (0.203) (0.003)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.022 (0.022)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	22 (22) (0)	0.206 (0.206) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	46	0.434	

期中の平均基準価額は10,678円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年6月21日から2020年6月22日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 1,411 (18)	千米ドル 5,374 (279)	百株 1,364 (16)	千米ドル 6,046 (279)
	オーストラリア	80	千オーストラリアドル 61	248	千オーストラリアドル 173
	ニュージーランド	94	千ニュージーランドドル 61	437	千ニュージーランドドル 283
	香 港	300	千香港ドル 185	160	千香港ドル 92
	韓 国	20	千韓国ウォン 31,910	16	千韓国ウォン 49,936
	台 湾	1,380 (-)	千新台幣ドル 3,749 (△ 4)	4,713 (164)	千新台幣ドル 11,139 (-)
	エジプト	-	千エジプトポンド -	1,275	千エジプトポンド 71

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	アメリカ		口 千米ドル	口 千米ドル	口 千米ドル
		CYRUSONE INC	3,056 234	-	-
		EQUINIX INC	492 350	-	-
	QTS REALTY TRUST INC-CL A	1,601 101	-	-	
	合 計	5,149 685	-	-	

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,338,003千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	651,766千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	2.05

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年6月21日から2020年6月22日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年6月21日から2020年6月22日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年6月22日現在)

(1) 外国株式

銘 柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADVANCED MICRO DEVICES	—	61	333	35,620	半導体・半導体製造装置
AKAMAI TECHNOLOGIES	38	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL C	4	4	589	62,980	メディア・娯楽
ALTERYX INC - CLASS A	—	14	229	24,518	ソフトウェア・サービス
CLOUDERA INC	—	55	71	7,585	ソフトウェア・サービス
COGENT COMMUNICATIONS HOLDIN	—	11	89	9,596	電気通信サービス
COGNEX CORP	52	45	260	27,866	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
DOMO INC - CLASS B	—	6	19	2,044	ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-A	28	25	614	65,651	メディア・娯楽
FASTLY INC - CLASS A	—	17	109	11,716	ソフトウェア・サービス
INPHI CORP	—	12	135	14,484	半導体・半導体製造装置
INTEL CORP	92	96	577	61,612	半導体・半導体製造装置
LATTICE SEMICONDUCTOR CORPORATION	—	33	93	9,978	半導体・半導体製造装置
MAXLINEAR INC	—	13	26	2,819	半導体・半導体製造装置
MICROSTRATEGY INC	—	2	24	2,586	ソフトウェア・サービス
NETAPP INC	42	49	219	23,400	テクノロジー・ハードウェアおよび機器

イノベーション・インデックス・A Iマザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)	期末		業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
NVIDIA CORP	32	16	608	64,945	半導体・半導体製造装置	
PINTEREST INC- CLASS A	—	105	246	26,265	メディア・娯楽	
PURE STORAGE INC-CLASS A	—	48	83	8,955	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
RADNET INC	—	12	18	1,962	ヘルスケア機器・サービス	
SNAP INC-A	287	—	—	—	メディア・娯楽	
SPLUNK INC	22	18	350	37,388	ソフトウェア・サービス	
SWITCH INC - A	—	17	32	3,505	ソフトウェア・サービス	
TABLEAU SOFTWARE INC-CL A	22	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
TERADATA CORP	57	22	46	4,929	ソフトウェア・サービス	
TWITTER INC	90	98	328	35,101	メディア・娯楽	
WESTERN DIGITAL CORP	58	76	340	36,375	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
XILINX INC	22	36	345	36,924	半導体・半導体製造装置	
ZAYO GROUP HOLDINGS INC	99	—	—	—	電気通信サービス	
AMBARELLA INC	—	9	44	4,761	半導体・半導体製造装置	
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	—	90	309	32,997	半導体・半導体製造装置	
SEAGATE TECHNOLOGY	60	63	330	35,239	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SINA CORP	35	11	41	4,434	メディア・娯楽	
ELASTIC NV	—	15	144	15,469	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	1,046	1,094	6,665	711,719	
		17	30	—	〈82.2%〉	
(オーストラリア)				千オーストラリアドル		
NEXTDC LTD	287	119	118	8,610	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	287	119	118	8,610	
		1	1	—	〈1.0%〉	
(ニュージーランド)				千ニュージーランドドル		
CHORUS LIMITED	343	—	—	—	電気通信サービス	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	343	—	—	—	
		1	—	—	〈—%〉	
(香港)				千香港ドル		
SUNVISION HOLDINGS	—	140	79	1,099	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	—	140	79	1,099	
		—	1	—	〈0.1%〉	
(韓国)				千韓国ウォン		
GABIA INC	—	1	2,430	213	ソフトウェア・サービス	
ALPHA HOLDINGS INC	—	3	1,752	154	半導体・半導体製造装置	
SILICON WORKS CO LTD	9	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
ANAPASS INC	—	2	4,751	418	半導体・半導体製造装置	
HYVISION SYSTEM INC	—	3	3,080	271	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ADTECHNOLOGY CO LTD	—	2	7,380	649	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	9	13	19,396	1,706	
		1	5	—	〈0.2%〉	

イノベーション・インデックス・A Iマザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)	期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(台湾)				千新台幣ドル		
VIA TECHNOLOGIES INC	200	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
FARADAY TECHNOLOGY CORP	190	50	205	740	半導体・半導体製造装置	
CMC MAGNETICS CORP	1,350	225	169	611	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
TRANSCEND INFORMATION INC	180	60	429	1,550	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ELITE SEMICONDUCTOR MEMORY	—	80	309	1,116	半導体・半導体製造装置	
MACRONIX INTERNATIONAL CO LTD	1,600	460	1,490	5,380	半導体・半導体製造装置	
RITEK CORPORATION	800	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
GLOBAL UNICHIP CORP	80	30	651	2,350	半導体・半導体製造装置	
ALCHIP TECHNOLOGIES LTD	—	10	395	1,427	半導体・半導体製造装置	
ASMEDIA TECHNOLOGY INC	20	7	955	3,449	半導体・半導体製造装置	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,420 8	922 8	4,605 — <1.9%>	16,626 — <1.9%>	
(エジプト)				千エジプトポンド		
ORASCOM TELECOM MEDIA AND TE	1,275	—	—	—	電気通信サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,275 1	— —	— — <-%>	— — <-%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,382 29	2,290 45	— — <85.5%>	739,762 — <85.5%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	口数	期首(前期末)	期 末		組入比率	
		口 数	口 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)				千米ドル	千円	%
CYRUSONE INC	—	—	3,056	234	25,014	2.9
EQUINIX INC	—	—	492	350	37,372	4.3
QTS REALTY TRUST INC-CL A	—	—	1,601	100	10,782	1.2
合 計	口数・金額 銘柄数<比率>	— —	5,149 3	685 —	73,169 <8.5%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2020年6月22日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
株 式	739,762	71.0
投 資 証 券	73,169	7.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	229,676	22.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,042,607	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産(855,094千円)の投資信託財産総額(1,042,607千円)に対する比率は82.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=106.77円、1オーストラリアドル=72.86円、1ニュージーランドドル=68.42円、1香港ドル=13.78円、100韓国ウォン=8.80円、1新台幣ドル=3.61円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年6月22日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,063,826,057円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	31,249,139
株 式(評価額)	739,762,436
投 資 証 券(評価額)	73,169,788
未 収 入 金	219,571,427
未 収 配 当 金	73,267
(B) 負 債	198,513,002
未 払 金 債	198,512,930
未 払 利 息	21
そ の 他 未 払 費 用	51
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	865,313,055
元 本	692,341,269
次 期 繰 越 損 益 金	172,971,786
(D) 受 益 権 総 口 数	692,341,269口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C / D)	12,498円

※当期における期首元本額740,147,760円、期中追加設定元本額402,138,792円、期中一部解約元本額449,945,283円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は、イノベーション・インデックス・A I 692,341,269円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2019年6月21日 至2020年6月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,540,792円
受 取 配 当 金	5,516,812
受 取 利 息	28,167
支 払 利 息	△ 4,187
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	189,555,640
売 買 益	229,064,322
売 買 損	△ 39,508,682
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,387,346
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	193,709,086
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 43,932,450
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	48,656,028
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 25,460,878
(H) 計 (D + E + F + G)	172,971,786
次 期 繰 越 損 益 金(H)	172,971,786

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。